

## 明和町のお墓

明和町には他の地域では見られなくなった独特なお墓が残されています。それはお墓が二つ作られるりょうぼ両墓制です。人が亡くなると亡骸を埋める「サンマイ」と呼ばれる埋め墓うばか、お参りをするための「ラントバ」と呼ばれる参り墓まいばかが建てられます。日本での埋葬はもとも火葬ではなく土葬であったため、亡骸をそのまま埋めた墓地は穢れのある恐ろしい場所であると考えられていました。そこで埋めた墓と違う場所に、お参りのためのもう一つの墓地をつくったことが両墓制の由来です。

埋葬方法が火葬となった今でも明和町では両墓制の形が続いています。墓地の場所を見るとサンマイは恐れられた場所であったため集落から離れた場所にあることがわかります。またサンマイの墓石は小さく、地面に直接建ててあるのも特徴です。

隆子女王の墓の隣にある墓地も馬之上、算所、須田、山川、東村、南野、下尾の7つの集落の埋め墓で「ナナトコサンマイ」と呼ばれています。



サンマイ



中海の集落と墓地



ラントバ

キーワード：両墓制、サンマイ、ラントバ、ナナトコサンマイ